
私達の宝物

mama'sハッピー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私達の宝物

【Nコード】

N0831D

【作者名】

mama'sハッピー

【あらすじ】

『流産』から学んだ事どん底から這い上がって前向きに暮らしている2人の気持ちの変化を感じられます

私はこの夏、流産を経験しました

『流産』という言葉を目にしたことがあっても実際経験することで『流産』は人生において悲しい出来事でもあるし色々な意味で前進、成長させてくれる大切な意味のあることに気付く事が出来ました。

私の体験は幸せから挫折そして前向きな気持ちへと変化していきました。

付き合って三年で結婚、退職、家を購入、結婚式、あまりに幸せ絶頂で少し怖さを感じていたある日願っていた妊娠発覚？喜びでいっぱいになりました！彼もとて喜んでくれてその顔を見ることがとても嬉しかった！それからは全くない知識を得ようと沢山本を読みました。

読めば読むほど不安は大きくなり妊娠生活は一つ一つ難関を突破していかなければいけないことに気づきまず妊娠できたことの第一関門突破！に喜んでいました！一週間後初の病院へ行き妊娠発覚（第2関門突破）二週間後の二回目の検査で赤ちゃんの心拍を確認！ホッとして2人で泣いた…ただ周期からいって赤ちゃんの小ささに疑問を感じ…ハッキリ見えたわけではない心拍に不安を感じたまま先生のおめでとうございます！に安心していた。ちよつと小さいから排卵が遅れていたのかな…？と言われ体全身で喜ぶことができなかったあの時の気持ちが予感的中だったとは知らず…心拍確認できたこととお互いの家族に報告。親しい友人にも報告。みんなに祝福され嬉しかった！

3度目の検査の三日前あと三日で予定日がわかるかな…とワクワクしていたらトイレで茶色い出血？のようなものを発見…一気に不安と焦りで気持ちが落ち着かなくなり病院に電話。次の日来るように言われた。不安で不安で寝ることができなかつた。次の日会社を休

んでくれて2人で朝一で病院へ

待合室では不安で不安で具合が悪くなりそうだった…名前を呼ばれ2人で中へ…確認できていた心拍がなく赤ちゃんは死んでしまったのだ…受け入れられず涙でいっぱいになった。

先生の説明をうけている間これが血の気がひくというのが何かがグアツと上がってきて倒れそうになった。

あとのことはあまり覚えていない。

気持ちを落ち着かせるため個室に案内され2人で泣いた。
泣いて泣いて泣きまくった。

私は泣きながら何度もごめんねと言っていた。

入院の手続きを済ませ一度家に帰った。

帰りの車も2人で放心状態。
ずっと泣いていた。

やっぱり簡単には受け入れられないよ…喜んでいた顔をみて嬉しかったのに悲しみでいっぱい顔を見るのがつらい…なんでこんなことになっちゃったんだろう…悲しみでいっぱいそのまま夕方から入院…夜までずっと側にいてくれた…夜は別々に寝た。

結婚して初めて別々に過ごす夜不安で不安で涙がとまらない。

きっと主人も同じように1人で泣いていると思うと余計な涙が溢れてくる。

次の日の朝手術。

初めての手術台。

怖かった。ただ赤ちゃんがお腹にいる最後の時間を大切に思った。点滴をうち麻酔入ってから私は私が気づいたときにはベッドに帰ってきていた。お腹が痛かった…ただ痛みもなくわからないうちに手術はすみ私の体は空っぽになった…退院母と一緒に家へ…何も喋れない…全部が空っぽになってしまった…母はご飯を作ってくれて帰っていった…仕事が終わって主人が帰ってきて頑張ったね。とギョツとしてもらってまた2人で大泣きした。何も食べられず2人でボー

つとしながら沢山語った。お互いが思っている気持ち…沢山話しているうちに赤ちゃんが私達に教えてくれたことがわかってきた…私達に足りない物や私が不安に思っている気持ち…2人にとってダメなところを全部とって持つていくれたんだ！と…私にはもう主人にたいしても不安は何もない…お互い思っている気持ちを話して私達2人の絆をもっと強めてくれた…お互いの嫌な気持ち…不安に思っている気持ち赤ちゃんはわかっていたんだ…赤ちゃんがお空にいつてしまったのには意味がある。ちゃんと私達にきづかせに来てくれたんだ…それに気づいたときまた涙が溢れてきた…そして悲しみからありがとうと感謝の気持ちへとかわった…写真では豆粒ほどしかなかった赤ちゃん…けど私達の絆を強めてくれて大切な事を教えてくれた…あんな小さくても大きな事を教えてくれた…私達の赤ちゃんはすごいよ！本当にそう思った妊娠を伝えたみんなに報告し励ましのメールがみんなから届いた…まだ誰とも話せないし会えない…気持ちが落ち着いたらゆっくりもとの生活に戻りたい…嫌でも主人は会社について人会わなくちゃいけないくらいはずなのに私に優しくしてくれる。

そんな優しさに感謝の気持ちでいっぱいになった。

私は携帯で『流産』を検索してみた。

ビックリした…同じ経験をした人達が沢山書き込んでいてこんなに沢山同じ気持ちの人がいるなんて知らなかった…一つ一つ呼んでいると同じ気持ちで大切な事を残してくれた赤ちゃんがいるみんなが強くなっていることがわかりみんな前向きになっている…みんな前向きにこれからも頑張ろうとしている…私も同じ気持ちになった…今まで身近に流産した人や妊娠できずつらい思いをしている人がいて気持ちを感じながら『頑張ろう！』と慰めていたけれどやっぱり体験をして同じ気持ちになって初めてこんなに辛いんだ…こんなどん底までいって悲しみでいっぱいになるなんて知らなかった…私達はそんな人達の悲しい気持ちも本当にわかるようになりそして何よりも優しい気持ちになれたような気がする…みんな人には言えない

色々な悩みを抱えて生きているんだ…人の痛みが少しでもわかる人間になれた事を嬉しく思う。

何不自由なく子宝にも恵まれ幸せそうに暮らしている人達だってきつと辛い時期を乗り越えてきたんだ…頑張っている人には頑張っている分だけ幸せが舞い降りてくる！そんな気持ちを教えてくれたのも赤ちゃん！今回の経験はマイナスではない。

私達の人生にとってプラスになった…このプラスの気持ちが前向きにさせてくれる！初めての挫折…悲しいし辛い！けど何かしらきつと意味がある！その何かに気づけたときどんどん前に進んでいけるんだと気づけた！私達は周りの人の優しさ…同じ思いをした人達…周りの環境…沢山沢山感謝し毎日を過ごしていこう！と誓った！捉え方は人それぞれだと思う！ただ人を妬んだり恨んだりするより何かを感じとれたほうが一歩前進できるってことを伝えたかった！私達の大切な宝物『赤ちゃん』を忘れず…そしていつかこの腕に赤ちゃんを抱ける日までみんなの笑顔を見れる時まで努力し前向きに頑張っていこうと思う！これと呼んでくれた人達へ同じ思いの人や周りに同じ思いをしてる人がいるかもしれない！こういう気持ちもあるんだと知っていた良かった…私達もわからなかったように…心優しくなれた事に感謝しこれからも忘れず強く生きていこう。

（後書き）

共感しあったり気持ちを少しでもわかっていたただきたく掲載しました あったかい気持ちになっていただけたら幸せです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0831d/>

私達の宝物

2010年10月15日20時16分発行